

令和4年11月11日 RDUF
公開シンポジウム ライトニングトーク



宇宙科学分野のメタデータスキーマSPASEと JPCOARスキーマとのマッピングについて

－ 学術分野メタデータからのマッピングに関するパイロット的取り組み－

名古屋大学附属図書館 直江千寿子



宇宙科学分野のメタデータスキーマ

- ▷ SPASE (Space Physics Archive Search and Extract)
 - ・ NASAを中心とする国際コンソーシアムが策定
 - ・ 国際標準のメタデータスキーマ
 - ・ 日本でもこれに準拠したメタデータを作成し
分野のDBであるIUGONETに登録 (約1200件)



機関リポジトリへの登録

- ▷ 日本の学術流通における汎用スキーマ：JPCOAR
- ▷ 登録のメリット
 - DOI取得可能
 - 大学や機関の知の資産に
 - メタデータのハーベストによる被検索可能性向上
機関リポジトリ → (NII) IRDB → データカタログ横断検索システム → Google Dataset Search
 - (今後) 共通メタデータ項目へ対応可能



SPASE-JPCOARマッピング

2022年7月から以下のタスクフォースメンバーで実施

メンバー	スキル
宇宙科学分野の研究者 (宇宙地球環境研究所所属教員)	SPASEに関する知識・運用経験
図書館職員	JPCOARに関する知識・運用経験
情報学エンジニア	マッピングを実装するための知識・技術



完成したマッピングテーブル (一部)

JPCOAR

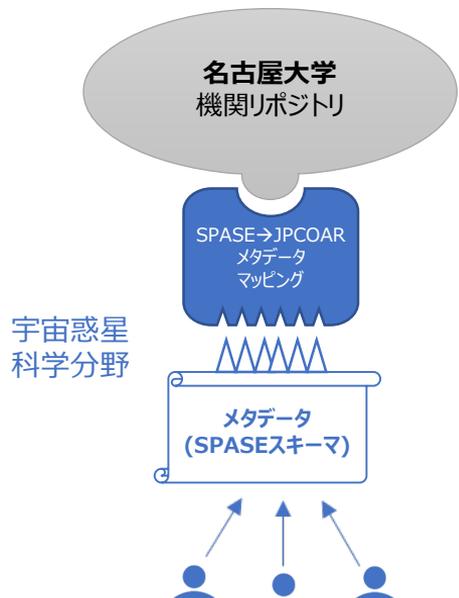
SPASE

No	項目名 (日本語)	項目名 (英語)	属性	作成 タイプ	入力 タイプ	検索 タイプ	SPASE 2.4.0	注釈	説明	関連コメント	注意事項	検索例	非検索例	備考
	タイトル	title		TRIPLE	URI	URI	<pre><ResourceName> <ResourceName></pre>	<p>SPASEの欄は4ヘタ並置、 縦書きに並置している場合、 JPCOARで非対応とする。
 ****lang="en"****を必ず入れること。</p>	コンテンツのタイトル、論文の題名、編者名である。SPASE本文と同じ種類のタイトルを優先的に採録する。タイトルの詳細情報item:langに記す。			<pre><dc:title><en:lang="ja">情報科学時代の社会情報学</en:dc:title> <dc:title><en:lang="en">Information Science in the Information Age</en:dc:title></pre>	<pre><dc:title><en:lang="ja">情報科学時代の社会情報学</en:dc:title> <dc:title><en:lang="en">Information Science in the Information Age</en:dc:title></pre>	<p>この項目はSPASEの欄に4ヘタ並置、縦書きに並置している場合、JPCOARで非対応とする。
 ****lang="en"****を必ず入れること。</p>
	その他のタイトル	dc:alternative		TRIPLE	URI	URI	<pre><> <dc:alternative></pre>	<p>SPASEの欄は、 JPCOARで非対応とする。
 ****lang="en"****を必ず入れること。</p>	コンテンツ、書籍タイトル等のタイトル以外のタイトルも採録する。			<pre><dc:alternative><en:lang="ja">次世代ITと社会</dc:alternative> <dc:alternative><en:lang="en">Next-Generation IT and Society</dc:alternative></pre>	<pre><dc:alternative><en:lang="ja">次世代ITと社会</dc:alternative> <dc:alternative><en:lang="en">Next-Generation IT and Society</dc:alternative></pre>	
	作成者	creator		URI	URI	URI	<pre><ResourceName> <Contributor> <PersonID></pre>	<p>SPASEにはResourceIDの項目がないので、作成者が記載されている場合は、PersonIDの項目(作者名)に必要に応じて縦書きにマッピングする。</p>	コンテンツの作成に直接関係する個人または団体情報。	<p>必須項目がない場合、作成者が記載されている場合は、PersonIDの項目(作者名)に必要に応じて縦書きにマッピングする。</p>		<pre><creator> <creator><name>Name</creator> <creator><familyName>FamilyName</creator> <creator><givenName>GivenName</creator></pre>	<pre><creator><name>Name</creator> <creator><familyName>FamilyName</creator> <creator><givenName>GivenName</creator></pre>	
	作成者ID	creator:identifier		FALSE	URI	URI	<pre><ResourceName> <Contributor> <PersonID></pre>	<p>SPASEではORCIDiD</p>	<p>作成者IDはORCIDiD、SPASEではORCIDiD</p>			<pre><creator:identifier> <creator:identifier><uri>https://orcid.org/0000-0001-0002-0003</creator:identifier></pre>	<pre><creator:identifier> <creator:identifier><uri>https://orcid.org/0000-0001-0002-0003</creator:identifier></pre>	
	作成者ID	creator:identifier		FALSE	URI	URI	<pre><ResourceName> <Contributor> <PersonID></pre>	<p>SPASEではORCIDiD</p>	<p>作成者IDはORCIDiD、SPASEではORCIDiD</p>			<pre><creator:identifier> <creator:identifier><uri>https://orcid.org/0000-0001-0002-0003</creator:identifier></pre>	<pre><creator:identifier> <creator:identifier><uri>https://orcid.org/0000-0001-0002-0003</creator:identifier></pre>	



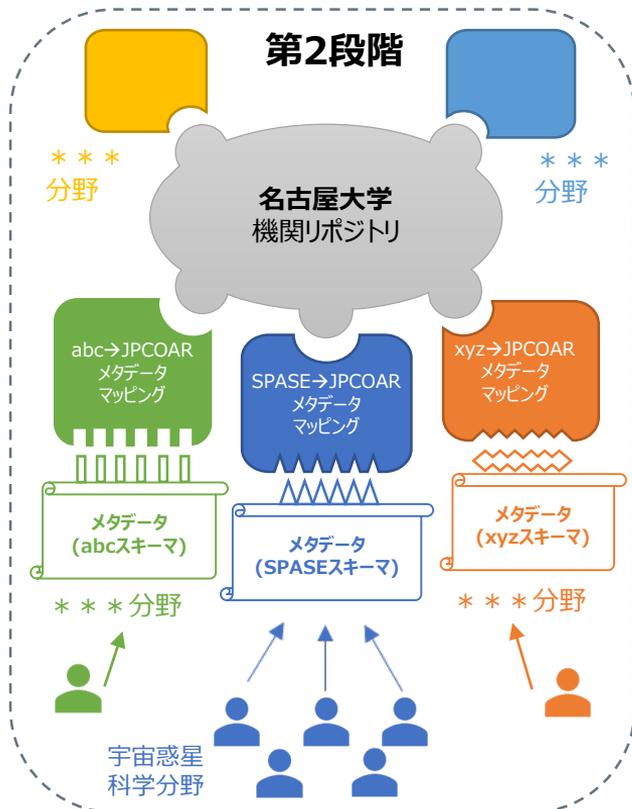
他研究分野・機関への展開可能性

第1段階

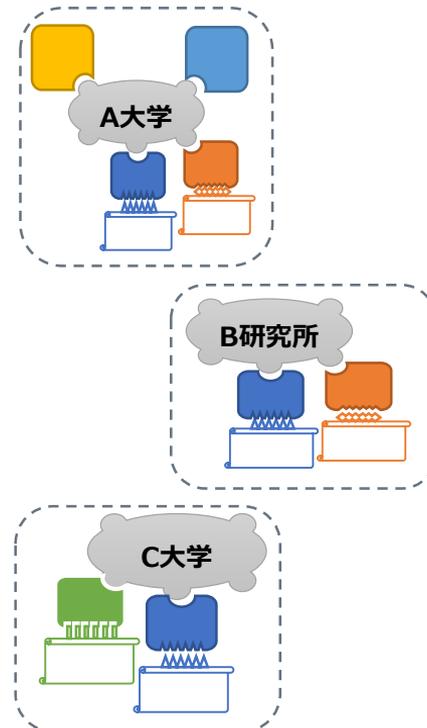


パイロット的な取り組みとして実施中

第2段階



第3段階



本日の振り返り

- ▷ 分野のメタデータ → JPCOARスキーママッピング
 - 学術分野共通の課題
 - 機関リポジトリへ登録するメリット
 - 名大でパイロット的な取り組みを実施中
 - 全国の大学・機関で同様の取り組みを**共有希望**

お問い合わせ先：名古屋大学附属図書館学術機関リポジトリ担当
ir-admin@nul.nagoya-u.ac.jp